

地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

第5回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

第5回委員会の議論について

9月15日、委員18名の参加のもと、第5回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。委員会では、8月から実施している地域説明会の開催状況について各委員から報告を受け、その内容について審議しました。



木下公明 先生

また、今回からアドバイザーとして「鳥取市立湖南学園」の初代校長を務められた木下公明先生にもご参加いただき、これまでの経験と学識をふまえたご意見をいただくこととなりました。

地域から出されたご意見やご質問を紹介します

令和3年9月15日時点

～学校種についての要旨～

◆宝木地区◆



- 小学校と中学校は組織や文化、習慣などの違いが大きい。小学校では1～6年生の縦割りの関わりや高学年の成長、年長者としての自覚を持つのも大切だと思う。
- 義務教育学校について、宝木地区で話をしていた際には出ていなかった。いつ頃そのような案がでてきたのか。
- 気高中周辺を文教地区にして欲しい。

◆瑞穂地区◆



- 小学校を統合するなら義務教育学校を目指した学校。場所は気高中が良い。
- 気高中学校の場所に義務教育学校として整備し、通学路を拡張するなどして児童の安全を確保すべき。



◆浜村地区◆

○中一ギャップの解消や不登校問題の改善、学力向上など一定の効果があるのであれば、将来的には義務教育学校も視野に入れ、小中学校を一貫教育にする必要がある。
○4つの学校が一緒になることでの課題や問題もおこってくると思うと、一気に小中学校が一つになるのは難しいのではないか。



○義務教育学校を目指すのであれば、将来にわたって1学年2学級以上の学校にするべき。

◆逢坂地区◆

○将来的には義務教育学校も考えられるが、児童生徒数の規模を考えると、まずは、小学校4校を統合するのがよい。



○なるべく早く、新設統合を。まず、4校の小学校の統合を急ぐべき。

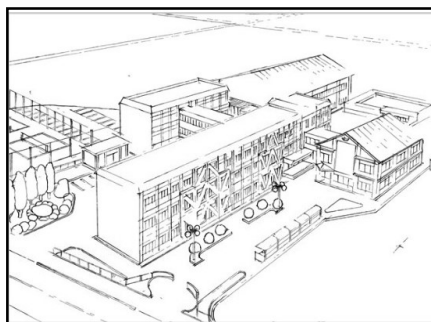
※今後も、地域の皆さんに議論の状況をできる限りお伝えしていきたいと思います。

視察報告 ～市内の義務教育学校ってどんな様子？～

新しい学校づくりに向けて、市内にある義務教育学校の湖南学園と江山学園へ視察に行ってきました。

湖南学園では、9年間を通して教育を受けることによる効果や独自教科「拓」の取組について、岡田年史校長からご説明いただきました。

また、江山学園では、新校舎建設の進捗状況や旧江山中学校の校舎・グラウンドの利用方法など



江山学園新校舎完成予想図(令和4年度)

現地確認しました。いずれの学校も教育環境は

すばらしく、新しい学校を創るうえでとても参考になりました。新しい学校を特色ある魅力あふれる学校にすべく検討を進めていきたいと思ひます。



◀資料はこちらから

鳥取市公式ホームページ

(気高地域学校統合準備委員会について)

発行：気高地域学校統合準備委員会

事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室

TEL : (0857) 30 - 8405

E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp